

令和8年度 前期

重点目標達成に迫るための

具体的な手立て

～ 前期 自己評価結果を受けて ～

活用の仕方

この冊子は、7月27日（月）に行われた「前期 自己評価委員会」を通して、作成されたものです。

○学年団部会提案

2学期以降共通理解の上、継続して指導していきましょう。

○徳育部・知育部・体育部 各部会

各部からの具体的な手立てについて、全学年で共通して取り組んでいきましょう。

後期のアンケート調査は11月27日（金）です。教育目標、重点目標達成のため、学校全体で取り組みましょう。

今後の予定

9月 1日（火）作成した「重点目標達成に迫るための具体的な手立て」を基に教育実践を行う。

9月 7日（月）第3回学校運営協議会で報告し、御意見をいただく。

9月7日以降 学校便りで具体的な方策について保護者に伝える。

10月上旬 結果報告 学校だより ホームページのアップ

11月27日（金）児童、保護者、職員、学校運営協議会委員アンケート配付・配信

12月 2日（水）児童アンケート締切 ⇒集計

保護者、職員アンケート回答締め切り ⇒集計（教務）

12月23日（水）までに全アンケート集計、考察、資料作成・配付（教務）

1月 8日（木）までに、資料を各自で確認する。

1月 8日（金）教育課程全体会②の中で第2回自己評価委員会を行い、来年度教育課程編成に生かす。

2月上旬 結果報告 学校だより ホームページのアップ

2月10日（水）次年度教育計画について第4回学校運営協議会で報告し、御意見をいただく。

3月上旬 学校評価の結果報告→市教育委員会指導課

さくら連絡網にて、令和9年度教育課程概要、年間行事予定配信

重点目標達成に迫るための具体的な手立て 作成について

重点目標への取り組みについて、職員、保護者、子供たちのアンケートを基に、じっくり時間をかけて1学期の指導を振り返る時間にしていきたいでしょう。



自己評価委員会では、アンケートを基に「課題」を洗い出し、5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）を踏まえて「課題改善に取り組む具体的な手立て」を明確にすることが大切です。

その手立てが具体的であればあるほど、後期の評価を行うときに、子供も職員も評価しやすくなります。（手立てが有効だったか、振り返ることができる。）

（例）

○「身近な人の顔を見てあいさつや返事をする」項目の評価が低いので、その項目を改善するために、毎月第2週目に、身近な人の顔を見て挨拶や返事をする人を学年でアンケート調査し（自己評価ではなく、他者が評価する。）、その結果を昼の放送で紹介し、称揚することによって、あいさつや返事をする子供を増やしていく。

○「相手の意見を最後まで聴き、自分の考えを深める」項目の評価が低いので、その項目を改善するために、「話を聴く時の3つのコツ」「分かりやすく話すコツ」について、学期始めの学級活動の時間に指導し、国語科、算数科の話合いの時に重点的に指導する。また、それらのコツができたかどうか、自己評価カードに○△×で自己評価する。また、その結果は月末に集計し、次の月への意欲につなげる。

○落ち着いた生活について、取り組み方に各学年の温度差があるので、毎週○曜日に「心の天気」に取り組むように位置付け、その結果について学級や学年、学校で共有し、次の週に生かしていく。

《注意点》

○自己評価委員会では、1学期教育活動の成果と課題を明らかにして、2学期以降重点的に取り組む課題を改善する「具体的な手立て」を明確にすることが大切です。

○具体的な手立てが明確化したら、2学期以降部別、学年団別に取り組み、後期の教育活動に生かしていきたいでしょう。

○学年主任、各部長は、事前 配付される資料を基に、ある程度「課題」を明確にしておきましょう。また、全ての課題には取り組めないの、取り組む課題を絞り込んで考えましょう。

やさしい子

成果

- 良いことを見つけ→みんなのために働く子が増えた。
- 運営委員会の「挨拶マスター」発表→子供たちのやる気が増えた。

課題

- 挨拶ができていない。→自分の知らない人、関わりの薄い人（旗振りの人など）に対して自分から挨拶をする人が少ない。
- 自分たちは挨拶ができていていると思っている（自己評価は高い）が、保護者や教員の評価は低い。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 子供たちに「家庭でも挨拶をしているか。」とアンケートをとる。
結果をブログなどで紹介し、保護者と挨拶についての現状を共有する。（PTAの方たちを巻き込んでできないかな…。）
→保護者と教員が挨拶をできるようにお互いに協力し合う。

元気な子

成果

- 体育や外遊びが好きな子が多い。

課題

- （特記事項なし）

課題改善に取り組む具体的な手立て

- （特記事項なし）

進んで学習する子

成果

- 学習に対して意欲的な子が多い。

課題

- 保護者に「目標設定・振り返り・意欲」が伝わっていない。→評価が低い。
- 自己評価が高い。（聴く・深める）

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 目標設定した板書や振り返りを書いたノートをブログや学年だよりで紹介する。
→学期に1回、月に一回など

その他

- チャイム…12時50分の合図（チャイムがなったら教室に出てよい。）
…20分休み・昼休みのもどり（5分前）のチャイム
…授業始まり・授業終わりのチャイムは、いらないのでは。。。
※早めに授業が終わったとしてもほかのクラスへの配慮は必要。
- 持ち物や事前に知らせる情報（校外学習）があれば、「家庭学習カード」か「さくら連絡網」にて知らせる。

- 「やってみたい」ができていると答えている児童・保護者が多い
⇒前のめりではあるが、時と場や相手の気持ちなどを考えさせたい。
(会社活動は任意でみんなのためになることを、係は責任もって全員が取り組むこと)

やさしい子

【成果】

- 「個性・尊重」は児童・保護者ともに高い

【課題】

- 係活動を責任もってとりくめていない
- 挨拶は自分からできない

【課題改善に取り組む具体的な手立て】

- 振り返りを設ける。一人一役にする。
- 扉に掲示をはる（まずは教室からあいさつをふやす）

元気な子

【成果】

- 外で元気に遊べる。
- 雨の日も落ち着いて過ごせる子が増えた。

【課題】

- やるべきことができていない。
- サッカーでけんかする。（本気と遊びを分けられない）
- 雨の日、一部の児童が校舎内で徘徊する。
- 廊下全力疾走（昼休み・下校）
- 右側通行が定着しない（臨機応変は大事）

【課題改善に取り組む具体的な手立て】

- 落ち着いて1日を始めるために、やることリストを作り、朝黒板をはる。授業の準備を朝にさせる。（見える化）
- 掲示で【とまれ】の注意喚起（ワークスペース入口、トイレ前など）
- 心のアンケートや実体験などを基に、2学期明けに学級で話し合う。
(廊下歩行、右側通行、雨の日の過ごし方について)

進んで学習する子

【成果】

- 目標設定 児童は高い
- 去年に比べて、聴ける子が増えた（体を向ける、やっていることをやめるが少しずつできている）

【課題】

○目標設定 保護者は低い

保護者に学習の経過が見えにくい。

○聞けていない子も多い（子供は聞いているつもり？）

【課題改善に取り組む具体的な手立て】

○ブログで授業の様子を公開

○学習カードで「今月の学習のめあて」を具体的に書かせる。

○懇談会で「目標設定や振り返り」について話す。

○2学期はじめに聴く練習（あのねタイム）

○聴き方、反応「あいうえお」の掲示の確認

☆チャイム

- ・ 1分前にチャイムがなる 黙想開始
- ・ 昼休みの12時50分にもならず
（走ったらやり直し）

学年団集会で話すこと

1 分間黙想

①チャイム・黙想【木下】

- ・ チャイムが鳴るよ
- ・ 放送がなったら黙想
- ・ 黙想したら健康チェック＆朝の活動

②朝のしたく（準備＆上靴）【木野】

③挨拶【晴日】

④廊下歩行（＆雨の日・ワークスペースの過ごし方）【笠原】

安全や周りのことを考えた行動なのか

【場所：ワークスペース】

やさしい子

成果

- 挨拶の項目については、児童・保護者ともに高い評価を得ている。
- 個性尊重の項目については、極めて高い。

課題

- 教職員による挨拶への評価が低い。時と場に応じた挨拶ができるようになってほしい。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 時と場に応じた挨拶(おはようございます・さようなら以外の挨拶)がどのようなものかを子供とともに考え、月のめあてと絡めながら、めあてを立て、振り返る。(子供の発達段階を踏まえて少しずつできるようにしていきたい。)

元気な子

成果

- けがが減り、楽しく運動に取り組む児童が増えた。

課題

- 児童の『落ち着いた生活』の評価は高いが、保護者・教職員の評価が低い。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 「心の天気アンケート」の結果を子供たちと共有し、安全に生活するための自覚を促していく。

進んで学習する子

成果

- 『聴く』の児童の評価は極めて高い。
- 『聴く』の4月からの変容が見られた。

課題

- 『聴く』の児童と教職員の差が大きい。
- 『目標設定』の保護者の評価が低い。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 『聴く』必要性を問い続ける。
- 行事や特定の活動だけでなく、教科で行っている授業の目標や振り返りの様子をブログ等で保護者に発信したり、単元のねらいに沿って振り返りに取り組ませたりする。

チャイムについて

鳴らすことで子供たちの意識は下がりそう。

『時刻を意識する』2学期以降の取り組み・1分間黙想の徹底を図るためにも、1分前黙想のタイミングでチャイムを鳴らすことで意識を高める。

挨拶・返事に関して

成果

- 挨拶の日は、みんなで挨拶するいい機会になり、学校でも定着してきている。
- 挨拶マスターは、子供たちが挨拶をするきっかけになっている。
- 運営委員も予告なしで行うことで、マンネリ化しないように工夫している。

課題

- 挨拶・返事の項目は、子供たちと教職員とで乖離がある。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- その都度、挨拶の必要性について指導したり、事後に振り返ったりする時間をつくる。
気付かないことや、知らないこともあるので、声掛けをしていく必要がある。
＊特に校外に行ったときは
- できた瞬間に即褒める。
- 「おはようございます」や「さようなら」以外にも、いろいろな挨拶があることを子供たちに伝えていく。
- 名前を先に呼んでから、挨拶をする。例「〇〇さん、おはよう。」

個性尊重・協力に関して

成果

- よいことみつけや、授業中の交流などで、互いに認め合う雰囲気がある。
- 東小の研修内容（「温かな学校・学級風土」（ウ）互いの個性が尊重され、自分らしく生活することができる。）と結びついている。
→引き続き個性が尊重され、温かい学級風土づくりを目指し、取り組んでいく。

成果と課題、重点目標達成に迫るための具体的な手立て

体育部

成果

- 楽しく運動できる児童が多い。

課題

- 「落ち着いた生活」がどういう状態か、まだ分かっていない。(廊下歩行・右側通行)

課題改善に取り組む具体的な手立て

- 保健委員会の取り組みとして「けが防止」のための放送とポスター作成。
- チャイムを有効に活用し、子供たちに落ち着いたスタートができるようにしたい。

その他

スポーツ大会

- ・・・種目数については、目標に合わせて今のままの種目構成でいい。
- 決審については、同着扱いなど、運営面で改善をしていきたい。
- 徒競走の組分けの仕方、同着扱い、児童管理に人手を回す。

水泳指導

- ・・・ゼッケンの付け方・タオルキャップの件 文書で伝え、保護者・教員の共有。
- 給食指導、清掃指導、交通指導

成果

- 『聴く』項目、児童の評価は高い。
- 昨年度に比べて『聴く』ことが身についてきている。

課題

- 『目標設定・振り返り』の保護者の評価が低い。
- 子供は聴いているつもりでも、最後まで聴いていない様子の児童もいる。

課題改善に取り組む具体的な手立て

- ①行事や特定の活動だけでなく、教科で行っている授業の目標共有や振り返りの様子をブログや懇談会で保護者に発信したり、単元のねらいに沿って振り返りに取り組ませたりする。
 - ②今まで取り組んできている「反応あいうえお」の確認や、学年団集会での傾聴についての語りかけなどに引き続き取り組み、発達段階に合わせて、聴き方や話を聴く必要性を子供たちと考え、問い続ける。
- 一昨年度・昨年度の研究で整理した楽しい授業の5つの要素を意識した授業改善をする。（重点目標と絡めて）
- ①単元の目標を設定する際は、子供とゴールイメージを共有し主体的に学習に取り組めるようにする。その様子を保護者にも発信していく。
 - ②『聴く』ことを引き続き大切にし、聴いてくれる安心感を土台とし、子供同士が対話を重ねながら学習を進めるための土台として、『聴く』ことを大切にしていく。